令和6年度施策評価シート（評価対象年度：令和5年度）

基本政策【分野】	子どもを産み育てやすく 豊かな学びで未来を拓くまちづくり 【子育て・教育分野】	施策	14_学校教育	所管部長 取りまとめ所属	学校教育担当部長 教育指導課
施策の内容	教育を取り巻く環境変化や個々の教育的ニーズに対応した教育を推進するため、きめ細やかな指導体制の充実を図ります。また、多様化・複雑化する課題に対応するため、切れ目のない相談・支援体制の充実を図ります。 さらに、学校・家庭・地域が連携・協働して子どもたちの健やかな成長を支えるため、地域とともにある学校づくりを推進します。				
めざす姿	学校・家庭・地域のつながりの中で、教育的ニーズに応じた学びや必要な支援を通して、児童生徒の自己肯定感や「生きる力」が育まれています。				
重点事業	小学校教科担当制等推進事業	小中学校学習活動支援事業			
施策構成事業	国際教育推進事業費	創意ある学校づくり推進事業費	小中学校図書館整備事業費		
	小中学校情報教育推進事業費	小中学校学習活動支援事業費	教育相談事業費		
	通級指導教室推進事業費				

評価

進捗評価	概ね順調	評価の判断理由	事業の取組状況は概ね計画どおりの取組が実施できています。重点事業は、ほぼ計画どおりの人員を配置できています。構成事業は、小中学校図書館整備事業を除いた事業は順調に実施できています。成果指標の実績値も、R9目標値達成に向けて現状値と比較し現状維持、上昇傾向が見られます。施策全体が概ね順調に進捗していると判断できます。

施策推進上の課題･環境変化	グローバル化による多様性や、急速な情報化や技術革新等、予測困難な時代の中で、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが、必要とされています。児童生徒に未来を切り拓く確かな資質・能力を育成するため、よりきめ細やかな、専門性を生かした指導・支援体制を構築することが求められています。

評価の経過	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	概ね順調				

施策推進の方向性

方向性	拡大
総評・今後の施策推進方針	概ね順調に施策は進捗していますが、小中学校9年間を見通したきめ細やかな教育を推進する上で、一層の事業の拡大を図る必要があります。 具体的には、きめ細やかな指導体制の充実を図るための非常勤講師及び指導補助員、専門性を生かした指導支援の充実を図るための日本語指導等協力者、読書活動を進めるための学校図書館司書等の配置及び配置の拡大により事業を推進していきます。また、切れ目のない相談・支援体制を構築するため、教育相談員及びスクールソーシャルワーカーの配置の拡大を図ります。 さらに、多様な体験活動や交流活動を通じて、家庭や地域社会と一体となった「地域とともにある学校」づくりを実現していきます。

成果指標

成果指標名 指標の定義	現状値	R５ 実績値	R６ 実績値	R７ 実績値	R８ 実績値	R９ 実績値	R９ 目標値(方向性)
自分には良いところがあると回答した児童生徒の割合 学力向上の指標における「自分には良いところがあると思いますか」で「ある」と回答した児童生徒の割合	81% (R4)	80%					85%
教育相談員・スクールソーシャルワーカーの配置人数 １日当たりの教育相談員・スクールソーシャルワーカーの配置人数	9.0人 (R4)	10.0人					10.8人
学校への地域の協力者 学校教育指導協力者の延べ人数	15,184人 (R3)	16,775人					20,000人

<table>
<tr><th colspan="4">重点事業の取組内容</th></tr>
<tr><th>事業名</th><td colspan="3">小学校教科担当制等推進事業</td></tr>
<tr><th>事業内容</th><td colspan="3">小学校において、小学校教科担当制を実施するため、大山小学校を除く全小学校に非常勤講師を配置します。
また、少人数学級を実施するため、非常勤講師を配置します。</td></tr>
<tr><th rowspan="4">取組工程</th><th rowspan="2">項　目</th><th colspan="2">令和5年度</th></tr>
<tr><th>計画</th><th>実績</th></tr>
<tr><td>教科担当制実施校への非常勤講師の配置</td><td>拡充（時間数増）</td><td>拡充（時間数増）</td></tr>
<tr><td>少人数学級実施校への非常勤講師の配置</td><td>拡充（配置校数増）</td><td>拡充（時間数増）</td></tr>
<tr><th>令和5年度
取組内容</th><td colspan="3">●小学校において、国、県が推進する教科担任制による非常勤講師に加えて、教科担当制による市費非常勤講師を大山小学校を除く全小学校に配置し、専門性を生かした授業、新たな教育内容への対応、複数教員の協働による多面的な児童生徒理解・指導、学校内での教員育成や小中学校のより緊密な連携を促進するよう努めました。
●少人数学級を実施するため、小学校４校に市費非常勤講師を配置し、児童一人一人にきめ細やかな指導・支援を行うよう努めました。</td></tr>
<tr><th>事業名</th><td colspan="3">小中学校学習活動支援事業</td></tr>
<tr><th>事業内容</th><td colspan="3">児童生徒の集団生活への適応を図るとともに、基本的な生活習慣や学習態度を育むため、児童生徒指導補助員を全小中学校に配置します。</td></tr>
<tr><th rowspan="3">取組工程</th><th rowspan="2">項　目</th><th colspan="2">令和5年度</th></tr>
<tr><th>計画</th><th>実績</th></tr>
<tr><td>指導補助員の配置</td><td>拡充（１名増）</td><td>拡充（１名増）</td></tr>
<tr><th>令和5年度
取組内容</th><td colspan="3">●指導補助員を１名増やしたことにより、大山小学校に新たに指導補助員を配置し、小学校全校において、児童生徒の基本的生活習慣の確立や集団生活への適応、基礎的基本的な学習の定着、学習に向かう意欲の向上を図るよう努めました。
●指導補助員の人員が集まらず、一部の学校に計画どおりの配置ができなかったことが課題です。</td></tr>
<tr><th colspan="4">重点事業以外の取組内容</th></tr>
<tr><th>令和5年度
主な取組内容</th><td colspan="3">【教育相談事業】
●訪問型家庭支援事業費を教育相談事業費へ統合することで、教育センター内の教育・心理・福祉の専門性をより有機的に活用する環境が整い、総合的・効果的に児童生徒の相談支援事業を推進することが可能となりました。また、増加傾向にある不登校等相談に対応するため、教育相談員の配置を前倒して増やしました。
【通級指導教室事業】
●通級指導により、言葉の理解や表現が苦手な児童や集団行動やコミュニケーションが苦手な児童が、学校生活に適応することができるようになる等の改善が見られ、学校生活を円滑に送れるようになっています。また、通級担当教員の各学校への派遣による巡回指導について他市町の状況を調査する等、検討を進めました。
【小中学校図書館整備事業】
●小中学校図書館整備事業においては、児童生徒の読書活動の推進を図るため、学校図書館の電子システム化及び学校図書館司書の配置に向けて検討を進めました。学校図書館の電子システム化及び学校図書館司書の配置の実現に向けて取り組むことが求められます。</td></tr>
</table>